

山梨県立わかば支援学校ふじかわ分校

地域支援だより

令和4年2月発行
第29号

令和3年度 第2回

峡南地域発達障害児連携支援研修会

～ ご参加・ご協力をありがとうございました ～

12月15日に開催させていただきました令和3年度第2回峡南地域発達障害児連携支援研修会につきましては、お忙しい中たくさんのご参加をいただきありがとうございました。

今回は「途切れのない支援を目指して～発達障害児を支えるネットワークづくりの実際」をテーマに、市川三郷町の福祉・教育の担当者の方々に御協力をいただき、仮想事例でのグループワークをしていただきました。担任がクラス内で「少し気になる子」を見つけるところからスタートし、校内での支援検討を経て町の関係機関と連携していく過程を見ていただきました。今回は市川三郷町を例として挙げさせていただきましたが、町ごとに支援のプロセスや役割分担は異なります。それぞれの立場で「どのような支援をしていくか」「どのようなところにつないでいくか」を考えていただけたら幸いです。なかなか普段顔を合わせて情報交換をすることは難しいご時世ですが、今回の研修会を終えて、「こんな時はこの人に」「この機関はこんなことをお願いできる」というように、普段から意識して連携の“引き出し”を増やしておきたいと感じました。

オンラインでの研修ということで、途中音声が届かなくなったり、画像が見えにくかったりとご不便をおかけしまして大変申し訳ありませんでした。また、グループワークにご参加いただいた方々には、年末のお忙しい時期に事前の打ち合わせや当日までの準備等、ご理解とご協力をいただきまして本当にありがとうございました。



令和4年度のオープンスクールについて

今年度に引き続き、令和4年度も感染症対策のため、オープンスクールは行わず、就学・進学を希望する方に限定して、1学期末に見学・説明会を行う予定です。日程が決まり次第、各学校へのご案内かふじかわ分校のHPでお知らせをいたしますのでよろしくお願いいたします。

また、就学・進学以外でも個別の見学や相談等のご希望がありましたら、いつでもご連絡ください。



令和3年度 本校のセンター的機能について

本校のセンター的機能の活用に関して、コロナ禍の影響で依頼の時期が集中してしまったこともあり、なかなかご希望に沿うことができず、関係の方々にはご迷惑をおかけいたしました。今後とも本校の相談支援活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

【① 教育相談】

来校相談、学校見学、体験学習はいずれも次年度の就学・進学に係るものでした。電話相談については、支援計画の作成に関する相談や、児童生徒の気になる行動に関する相談がありました。

【② 訪問支援】

訪問支援は昨年度よりも若干件数が減少しましたが、1回あたりに見せていただくお子さんが複数名ということが多く、延べ人数は昨年度よりも増加しました。高等学校からの依頼は今年度ありませんでした。

① 教育相談	電話相談	5回
	来校相談	1回
	学校見学	5回
	体験学習	1回
② 訪問支援	小学校	8回
	中学校	5回
	幼稚園・保育所	1回
	高等学校	0回
③外部専門家活用		7回
④研修支援		4回

(令和3年度4月～2月)

《主な相談内容》

小学校

- ・登校渋りがあり、毎朝なかなかスムーズに教室に入れない。
- ・感情のコントロールが難しく、人や物に当たってしまう。
- ・友だちとのコミュニケーションがうまくできずにトラブルが多い。
- ・読み書きが苦手で、学習に遅れが見られる。
- ・こだわりが強く、急な予定の変更に対応できない。学校行事に参加できない。

中学校

- ・学習への意欲が低く、学習の定着も難しい。
- ・進学（入試）に向けてどのような準備をしたらよいか。
- ・自己肯定感が低く、感情のコントロールが難しい。自傷行為がある。
- ・家庭の理解・協力が得にくい場合の保護者対応の仕方について。
- ・二次性徴や異性とのかかわり等、性の指導の内容や方法について。

【③ 外部専門家活用】

各学校からの依頼の内容に応じて、理学療法士（PT）、言語聴覚士（ST）、心理士等の派遣を行いました。専門家の活用を希望される場合は、本校へご連絡をいただき、一度学校を訪問させていただいてから派遣についてご相談させていただいております。

【④ 研修支援】

1学期～夏季休業を中心に研修支援を行いました。研修のテーマについては、事前に担当者の方とご相談をさせていただいた上で決めています。講義形式や、グループワーク形式等、研修会の主旨や参加者のご希望に合わせて計画させていただきます。

《主な研修会テーマ》

- ・問題行動の見られる児童生徒への対応について（事例検討）
- ・合理的配慮の具体例について
- ・子どもの実態把握と自立活動について（グループワーク） …等

新年度に向けて…引継ぎの時期になりました

年度末を迎え、学校は学習のまとめや成績評価等、忙しい時期になりました。受け持ちのお子さんに関して、次年度の担任へ（もしくは進学先の中学校や高等学校）への引継ぎの準備もされている頃かと思います。

個別の指導計画や個別の教育支援計画を作成しているお子さんに関しては、それを基にして細かい引継ぎができます。しかし、指導計画等は作成していないけれども、クラスの中でちょっとした配慮や支援を必要とするお子さんに関しては、どのように引継ぎをされているでしょうか。引継ぎを行う内容としては次のようなものが挙げられます。

- ▶ 学校生活や学習上のやりにくさ、つまづきやすい点
- ▶ 本人がやりやすくなる、学びやすくなる工夫
- ▶ 本人の得意なこと、興味をもっていること
- ▶ 友達関係について（マイナスの関係だけでなくよい関係も！相性のいい友だち等）
- ▶ 服薬、アレルギー等の身体的なこと



新年度のあわただしさの中、クラスの子どもの実態や家庭の状況を把握するには、ある程度の時間が必要です。そんな時に、前年度からの引継ぎの内容を参考にして対応できることは、新しい担任の先生にとっても大きな安心感につながります。

お子さんにとっても、新学期のスタートと共に、ちょっとした配慮や支援が継続されることで、新しい環境の中でも安心して生活でき、周囲の環境になじみやすくなります。



また、中学校から高等学校への引継ぎについては、県教委から出されている「中高連携シート」（「特別支援教育コーディネーターハンドブック」p50参照）を活用するとより丁寧です。中高連携シートは、個別の指導計画や個別の教育支援計画を作成していない生徒にも活用できます。保護者への承諾が必要となりますが、ぜひ引継ぎの際に活用を検討してみてください。

《引継ぎの際の留意点》

- ◎ 必要な配慮や支援は確実に伝える（口頭よりも文章が確実、簡潔でOK）
- ◎ 問題点「～が困る」よりも、「こうするとよい」という積極的な工夫を知らせる
- ◎ 引継ぎの内容によっては保護者の同意を得る

山梨県立わかば支援学校 ふじかわ分校

〒400-0601 南巨摩郡富士川町鯉沢5673-12

TEL：0556-27-0067 メール：wakafujy@kai.ed.jp

地域支援担当：豊嶋千鶴 佐野早百合 佐野道也

ぶんこちゃん

